

一般質問通告書(令和4年12月定例市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	匹田 久美子	1. 食に関するごみ削減の取り組みについて	(1) 食品ロスを減らすための本市の取り組みについて (2) プラスチックごみを減らすための本市の取り組みについて		
		2. 地域活動における女性参加について	(1) 女性の活躍推進について、内閣府の「第5次男女共同参画基本計画」に基づく本市の目標と取り組みはどのようになっているか (2) 「男は仕事 女は家庭」という、いわゆるジェンダーの役割分担意識を改革するために本市が行っている取り組みについて (3) 地域における女性リーダーを増やすための具体的な取り組みについて		
2	安東 鉄男	1. 武力攻撃事態への対応について	ロシアによるウクライナ侵攻で、ミサイル攻撃等により多数の尊い命が犠牲になり、故郷を奪われるといった現状がある。我が国においても1月以降、北朝鮮による日本海に向けた度重なる飛翔体の発射が問題となっている。とりわけ、11月3日には宮城県・山形県・新潟県において全国瞬時警報システム(Jアラート)が鳴り響き、テレビ等のマスメディアにおいて「頑丈な建物への避難を」と繰り返し呼びかけをおこなっていたのは記憶に新しい。 さらに、我が国は北方領土、竹島、尖閣諸島などの領土問題を抱えており、中国・ロシア両国は、頻繁に我が国の領空・領海侵犯を繰り返している。台湾海峡の緊張も高まっており、我が国が武力攻撃の標的となり、被害を受ける可能性があるということを実感として認識しなければならない。 この現状を踏まえ、内閣官房国民保護ポータルサイトによると、弾道ミサイル攻撃を想定した住民避難訓練の実施や避難行動について記した防災マニュアルを作成している自治体も増加している。 (1) 武力攻撃事態への備えについて伺う。 (2) 市の責務について伺う。		
		2. 救急救命講習について	先日の韓国イテウォンにおいて、ハロウィンに集まった人々の密集により群衆雪崩が発生し、158人の尊い命が失われた。また、我が国においても2001年に明石市の花火大会歩道橋事故で多くの犠牲者が出ている。津波や地震などの大規模災害や、突然のケガや病気により、倒れている方を見つけたときに、救命措置が非常に重要であると考えます。 (1) ウィズコロナにおける救急救命講習の実施方法等について伺う。 (2) AEDの配備について伺う。		
3	奥田 富美子	1. 新環境センターとごみの減量化について	令和9年度(2027年)の稼働開始予定の新環境センターは大分市、臼杵市、竹田市、由布市、津久見市、豊後大野市の6市から排出される一般廃棄物の処理を広域で行う施設で、現在建設計画が進められています。 (1) 新環境センターについて ① 進捗状況はどうなっていますか。 ② 新環境センター建設費について応分の負担をするようになっていますが、既存の施設の解体費用等の負担はどうなりますか。 (2) ごみの減量化について ① 2022年4月1日施行の「プラスチック資源循環促進法」通称、プラスチック新法ではプラスチック以外の素材への代替やバイオプラスチックの利用を促進するとしています。このことから、現在のポリエチレン素材のゴミ袋の見直しなど検討してはいかがでしょうか。 ② プラスチック新法を受けて、臼杵市におけるごみの減量化の取り組みの現状はどうなっていますか。		

一般質問通告書(令和4年12月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	広田 精治	1. 災害に強いまちづくりに 関して	<p>台風14号は各地に土砂災害をはじめ停電、断水など様々な被害をもたらし、日常生活や経済活動に影響を与えた。台風の階級は年々、強く、大型化している。市民の命とくらしを守る対策は一層重要だと考える。</p> <p>(1) 台風14号による停電、断水の状況と対応を伺う。</p> <p>① 市内の停電・断水地区(集落)数と戸数 ② 断水の原因、復旧までに要した日数</p> <p>(2) 災害時の停電、断水対策について伺う。</p> <p>① 九州電力送配電株式会社が行っている停電対策の概要と、それに対する市の支援について ② 倒木等による電柱、電線の倒壊切断対策として、周辺環境整備(木の伐採、土砂災害防止)、及び断水対策について ③ 指定緊急避難場所、指定避難所の停電対策に関する以下の内訳について ・非常電源(発電機等)が常備されている施設 ・非常電源が持ち込みで応急措置がとられている施設 ・対策がとられていない施設の各内訳 ④ 家庭でできる停電対策として、太陽光発電の普及についての市の考え</p> <p>(3) 高齢者家庭などが希望する音声告知放送端末の設置についての本市の考えを伺う。</p>		
		2. インボイス制度への本 市の対応について	<p>(1) インボイス制度(消費税適格請求書等保存方式)が令和5年10月から導入され、すでに登録申請が始まっている。以下本市の対応を伺う。</p> <p>① インボイス発行業者登録(以下インボイス登録という)に関し、市の各会計への影響と対応について ② 現時点で課税売上1千万円未満の特別会計はあるか。あれば、インボイス登録後の推計納税額。 ③ 昨年の秋以降、自治体の公営企業会計等における入札参加資格にインボイス登録を加える動きがあるが、本市の対応は ④ 白杵石仏特別会計における取引相手の内、現時点での免税業者に対してインボイス登録を取引要件とすべきではないと考えるが、本市の考えは</p> <p>(2) インボイス制度の導入はシルバー人材センターにとっては死活問題だと危惧されている。以下伺う。</p> <p>① シルバー人材センターの役割、その活動に対する評価を伺う ② 現行をはるかに超える納税額を受け入れるか、会員のインボイス登録を受け入れるかの二者択一が迫られるセンターは、この制度によって経営そのものが危惧される。センターの存続には、補助金増額や業務発注単価や事務費の引上げも考えられるが、認識を伺う。</p>		
5	川辺 隆	1. 白杵市の人口減少問題 について	<p>(1) 出生数の推移と少子化対策をお伺いします。</p> <p>(2) これまでの移住者の人数と定住者の人数及びその状況についてお伺いします。</p> <p>(3) 若者の定住状況と対策をお伺いします。</p>		

一般質問通告書(令和4年12月定例市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	戸 匹 映 二	1. 防災について	(1) ペットの同行避難体制づくりの経過について ① 指定避難所等で同行避難体制を検討中との事であったが、その経過を伺う。 (2) 市民の災害時の正確な情報取得について ① 市民が災害時の正確な情報取得を支援するための現状の対策を伺う。 ② 災害時の「うその情報」に惑わされないために、防災訓練等で正確な情報取得についての学習の機会を作っていたいただきたいが如何か。 (3) 指定避難所のトイレ設備について ① 大規模災害に備えて、指定避難所のトイレの下水道を合併処理浄化槽との併用にする必要があると考えるが如何か。		
		2. SDGsの取り組みについて	(1) これまでのSDGsの取り組みについて ① 第2次白杵市総合計画後期基本計画からSDGsへの取り組みが紐付けされたが、これまでの取り組み経過と課題認識を伺う。 (2) これからのSDGsの取り組みについて ① 「SDGs未来都市」への選定を目指す可能性や、今後の取り組みについての考えを伺う。 ② SDGsの視点での「白杵市の2030年のあるべき姿」についての考えを伺う。		
		3. AED(自動体外式除細動器)の設置について	(1) 公共施設での設置状況について ① 現状のAEDの主な設置場所と設置個所数及び設置台数を伺う。 ② 設置施設や場所などをホームページ等で広報・周知して頂きたいが如何か。 (2) プライバシー保護への配慮について ① AEDのケース内にプライバシー保護用の三角巾を配備して頂きたいが如何か。		
7	甲 斐 尊	1. ユネスコ食文化創造都市について	(1) ユネスコ食文化創造都市の取り組みについて、市民の共感やその広がりはいかがか。現状と今後の課題を伺う。 (2) 白杵食文化創造都市推進プランの目指す基本目標に「産業の活性化と新たな価値を創造」と掲げている。取り組みの現状と今後の戦略について伺う。		
		2. 地域共生社会の取り組みについて	(1) 福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築について、具体的な方策の検討状況を伺う。		

一般質問通告書(令和4年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
8	伊藤 淳	1. 地域振興協議会の活動への支援について	<p>(1) 地域振興協議会の活動への支援については、令和4年3月定例会で、「市としては、各地域の協議会の活動が円滑に進むために、経費面での支援や活動に関する情報提供などを行っています。経費面の支援としては、拠点施設の維持管理経費、事務局員の人件費、活動に対する助成金などを負担しており、事務局員の人件費は、市の会計年度任用職員と同等の金額を基本に積算をしております。」と答弁されました。そこでお尋ねします。</p> <p>① 地域振興協議会の活動に関する支援策にはどのようなものがあるか教えてください。</p> <p>② 今後の活動の発展のため、地域振興協議会から上がってきている要望や地域課題を教えてください。</p> <p>③ その要望や課題解決に向けての検討結果を教えてください。</p>		
		2. 白杵市の観光まちづくりについて	<p>(1) 令和4年6月の市政運営事項の報告において、3月に白杵の特産品や文化、観光などの魅力を市内外に発信するため、博多大丸と「九州探検隊」アンバサダー協定を締結したこと。また、5月の白杵市観光まちづくり講演会で、講師から「本市の観光産業を推進していくためには、白杵でしかできない体験プログラムの開発や大量生産・消費からパーソナル商品への転換が必要」との助言を受け、「本市が目指す観光まちづくりにつながるものと考えている」と報告がありました。そこでお尋ねします。</p> <p>① 博多大丸との協定によるイベントなどの開催状況を教えてください。</p> <p>② 白杵でしかできない体験プログラムの開発や、パーソナル商品への転換などの取組み状況を教えてください。</p>		
9	河野 巧	1. (仮称)市営パークゴルフ場建設の進捗状況と今後の運営及び経営について	<p>令和4年度市政方針及び予算編成方針の中で、「高齢者が地域で生き生き暮らせる環境づくり」とあり、その中で久木小野地区の不燃物最終処分場跡地については、パークゴルフ場を整備し、「高齢者をはじめとする市民の健康づくりに資する施設として活用できるものにしていきたいと考えている」と示されています。そこで、現状と今後について問う</p> <p>(1) 建設に対する進捗状況について</p> <p>① 旧最終処分場跡地利用の届出に関する手続きについて</p> <p>② 地域をはじめとする市民に対する進捗状況の広報について</p> <p>(2) 今後の運営及び経営について</p> <p>① 安全に運営するための周辺環境に対する調査内容及び期限並びに市民への公表について</p> <p>② 運営に関する指定管理や委託先の条件、また所管する担当課について</p> <p>③ パークゴルフ場を運営する上での維持管理費の試算状況</p> <p>④ これまで白杵市が行ってきたパークゴルフ人口(愛好家)を増やすための対応と今後の対策について</p> <p>⑤ 高齢者をはじめとする市民の健康づくりに資する施設として活用するための具体的な方針及び地域をはじめとする市民が利用しやすい具体的な方策について</p>		
		2. 民生委員・児童委員の待遇改善について	<p>民生委員・児童委員のなり手不足や日本国内での物価上昇による活動経費の上昇等、続けていく上で問題となることが増えています。民生委員・児童委員の待遇に対して、現状と今後について問う。</p> <p>(1) 現在の民生委員・児童委員の定数および着任率、定数割れしている地区数について</p> <p>(2) 現状の民生委員・児童委員についての問題点をどのように認識しているか</p> <p>(3) 民生委員・児童委員の活動に対する評価及び活動しやすい環境に対する対応策について</p> <p>(4) 活動費の算出基準及び増額に対する考え方について</p>		
		3. 持続可能な市役所づくりの実現をめざす取り組みについて	<p>白杵市では持続可能な市役所づくりの実現に向けての取り組みが進められています。特に、若い職員を中心に組織されている「100年市役所検討委員会」が昨年4月に発足。市役所の在り方を抜本的に見直すことに取り組まれています。現状について問う。</p> <p>(1) 100年市役所検討委員会での検討内容及び進捗状況について</p>		